



6月議会
一般質問

重度心身障害者医療費助成に所得制限

43人490万円助成切り捨て

6月27日の市議会本会議で日本共産党の井上かつひろ議員が一般質問にたちました。川内港の特定利用港湾指定(きずな1084号)以外の質問と答弁を掲載します。「学校給食の自校方式への転換へ」は次週号に掲載します。

土地・家屋台帳の閲覧サービスの継続を

土地・家屋台帳の閲覧が来年から廃止されます。境界のトラブルなどの解決に役立ってきたサービスが廃止されれば、市の台帳閲覧200円が、法務局では地番一件の閲覧で450円(ネット閲覧は一件331円)という高いお金を払うことになります。井上かつひろ議員は、サービスの継続を求めました。



一般質問する井上議員(=6/27 薩摩川内市議会本会議)

問 土地・家屋台帳は、土地の境界のトラブルなどの解決に役立ってきた。閲覧廃止はサービスの後退ではないか。
答 地籍図の交付はこれまでどおり。土地の名義を調べるのにネットサービスで一件が331円。
問 土地・家屋台帳閲覧は過去にさかのぼり

て持ち主を調べることができない。法務局ではお金を持っている人から調べるができる。一般市民には敷居が高い。サービスの後退だ。閲覧を継続するよう求める。

重度心身障害者医療費助成 所得制限で対象外が43人

重度心身障害者医療費助成の対象が療育医療取得者や精神障害者まで広がり、自動償還払いになります。一方では所得制限が設けられ43人が切り捨てられます。

問 所得制限で医療費助成の対象外になる人数と医療助成額は最新データでは
答 最新のデータでは43名で約490万円になる。
問 重度の障害があっても医療費助成を打ち切られる人が出てくる。一律に所得制限をするべきではない。県に所

得制限撤廃を求めるべきだ。
答 県への所得制限撤廃は求め続けたい。
問 (対象から外れた43名の人に)市が独自に助成はできないか。
答 他の市町村と連携しながら、県への要望を続け、他市町村の状況を注視していきたい。

学校給食費無償化について市長に問う

問 県内で22市町村が学校給食費を無償にしている。薩摩川内市も少子化対策として無償すべきではないか。
答 子育て支援に当初予算では88億円を計

上している。(給食費無償化はできない)
問 学校給食費を無償化すれば、家計にゆとりができて家族一緒に食事をする機会が増えるなどさまざまなメ

リットがあることを文科省も認めている。
答 学校給食費の無償化のためには5億円が必要(なので無理)。



衆議院議員(比例東京ブロック)
笠井亮



衆院比例比例候補(党県書記長) まつざき真琴
薩摩川内市議会議員 党薩摩西部地区委員長 井上かつひろ
党いちき串木野相談室長(いたにゆき) 二谷友希

パーティー券裏金疑惑の徹底解明を
自民党政治にさようなら

希望ある新しい政治を

日本共産党 演説会

7月21日(日)午後2時開会
SSプラザせんだい 301～303 会議室

底知れない金権腐敗政治への批判が大きく広がり、自民党・岸田政権は根底から揺らぎはじめています。「アメリカいいなり」「財界の利益優先」の政治を続け、大軍拡と国民への負担増を国民に押しつける自民党政治。金権腐敗の自民党政治を終わらせ、国民が希望をもてる政治へ改革する、その展望を語ります。

主催：日本共産党薩摩西部地区委員会 薩摩川内市宮内町 2101-3 電話 0996-29-4680

エプロンおばさんの 簡単クッキング (641)



さつま揚げとキャベツの煮びたし

材料 (2人分)
さつま揚げ2枚、キャベツ3枚、
A (だし2/3カップ、しょうゆ・
みりん各大11/2)、七味唐辛子
適量 (好みで)

つくり方

- ①さつま揚げは2センチ幅に切る。キャベツは葉脈をそぎ取り、ざく切りにする。
- ②鍋にAを入れて煮たて、①を加えてまぜ、ふたをして約5分煮る。汁ごと器に盛り、好みで七味唐辛子を振る。

こちらくらし
の相談所 (No. 580)
携帯 080-3996-0237 (井上)

市道の除草が後回し

樋脇町の市民から「市道吉原鍋原線の草刈りが例年なら6月にはしてくれただが、今年はまだである。早急に草を刈ってくれませんか」

という要望がありました。その日のうち「樋脇支所の道路維持補修等作業員で伐採作業を実施しているところですが、今年度は通行止めにより上水道工事が実施されており、作業にかかれていないとの事でした。伐採作業については、同工事の進捗次第となりませんが、第2となりますが、樋脇支所管内も伐採要望が多数寄せられており、順番に対応している状況です」と回答がありました。素早い回答に感謝しますが、住んでいる相談者は納得されないうと、ひきつづき解決にむけて動きます。

7・21日本共産党演説会へ ぜひご来場ください

2024年7月18日 日本共産党薩摩西部地区委員会

一面に案内があるように21日(日)14時からSSプラザせんだいが会場の日本共産党演説会を成功へお誘い合わせでご参加下さい。

薩摩川内市議選が10月20日告示27日投票日となり、あと3か月となりました。今回の市議選は定数26に対し38人が名乗り上げています。12人はみだしの多数激戦の中で日本共産党の議席を失うわけにはいきません。今の市政は、「大企業さえ儲かればいい」「アメリカの言いなり」の自民党政治の悪政をそのまますすめています。市議会は、市長提案に「オール賛成」になっています。川内原発20年運転延長問題でも、自衛隊基地強靱化や川内港の軍事利用問題、18歳の名簿を自衛隊に提供している問題、マインバーの強制問題

などでは、市民の抗議の声が取り上げられませんでした。共産党は、市議会でただひとり川内原発運転延長に反対をうらぬきました。学校給食費の無償化陳情に賛成したのは共産党だけです。国保税や介護保険料が高すぎるから引き下げよと主張しているのは共産党だけです。マインバーの強制に反対し、健康保険証の廃止に反対しているのは共産党だけです。

方々の家賃減免ができません。介護保険料基準額が年間1200円引き下がることになりました。これは市民のみなさんの運動と日本共産党の活動が結びつき実現したものです。

このように自民党政治に反対し、市民の願いを実現を主張しているのが日本共産党です。

日本共産党は①危険な川内原発の運転延長に反対します。②憲法改悪ストップ。日本を戦争する国にする動きに反対します。③市民の暮らしと営業・福祉・農業を守ります。④ジェンダー平等の社会をめざします。⑤気候危機を止めるため、脱炭素・脱原発の社会を実現します。

市民運動の大きな前進がありました。薩摩川内市が高校生までの医療費窓口負担ゼロを来年度から実施することになりました。市営住宅の減免基準が引きさがり、年金暮らしの

多数激戦の中で万が一でも共産党の議席を失うことがあつてはなりません。演説会の成功にみなさんのご協力をお願いします。



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生の つれづれなるままに (766)



朝四時。商業新聞に目を通す。しばらくすると、ジュジュル。ジュツジュツ。スズメたちが朝食を求めてやってくる。おお、来たか来たか。貞子さんがスズメ用に準備した餌をパッパッパとまくと、今か今かと電線に並んで待っていたスズメたちが、ふわりふわりと舞い降りてくる。食べ残しの米粒だが、プツンプツン飛ばしながら食べる姿がかわいらしい。なかには子連れのスズメもいて、チツチツと羽を震わす我が子に、せつせと餌をやっている。鳥たちの世界に児童虐待はない。ましてや生み落とす親もいない。そうこうするうちに、「しんぶん赤旗」が届く。国内や世界の出来事をつぶさに頭に入れ、私の一日の始まりだ。夕方。黄色くお化粧したおしろい花や、ピンクの顔に黄色いすじを引いたおしろい花、赤に黄色の口紅を施したおしろい花などが次々と咲く。おしろい花の饗宴。それを眺めながら、テレビニュースで一日をおさらい。八幡児童クラブのあれこれの思い、都知事選や県知事選の結果に心を重くして今日の私を閉じるべく床に向かう。タベは、亡くなった嫁のお父さんお母さんの夢を見た。これから水俣の姉のところへ行くという。今夜はどんな夢だろう。一日の重みをドサッと床に投げ捨て、目を閉じると、わが平和な一日が思い浮かび、ウクライナの子どもの姿が児童クラブの子どものたちと重なり、深いため息の夜が下りてくる。(高来児童クラブ支援員)